



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月11日
上場取引所 東

上場会社名 ケンコーマヨネーズ株式会社

コード番号 2915 URL <https://www.kenkomayo.co.jp>

代表者（役職名） 代表取締役社長 （氏名） 炭井 孝志

問合せ先責任者（役職名） 取締役 専務執行役員 （氏名） 寺島 洋一 TEL 03-5318-7530

四半期報告書提出予定日 2020年8月12日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	15,719	△15.1	△55	—	△36	—	△53	—
2020年3月期第1四半期	18,510	0.8	670	△10.4	745	△2.7	525	△0.1

（注）包括利益 2021年3月期第1四半期 143百万円（△54.4%） 2020年3月期第1四半期 313百万円（△48.7%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△3.24	—
2020年3月期第1四半期	31.89	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	61,146	33,982	55.6
2020年3月期	63,767	34,103	53.5

（参考）自己資本 2021年3月期第1四半期 33,982百万円 2020年3月期 34,103百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	15.00	—	16.00	31.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	—	—

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
2. 2021年3月期の配当につきましては、現時点では未定としております。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	68,000	△8.7	2,100	△27.6	2,040	△32.1	1,320	△35.9	80.12

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有
2. 連結業績予想の修正については、本日（2020年8月11日）に公表いたしました「2021年3月期業績予想の公表に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社、 除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	16,476,000株	2020年3月期	16,476,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	578株	2020年3月期	578株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	16,475,422株	2020年3月期1Q	16,475,422株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2020年4月1日から2020年6月30日まで)におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症拡大予防対策として小売業・外食産業等への休業要請や国内外同時に行われた移動規制などにより停滞し、景気は大幅に悪化しました。5月25日の緊急事態宣言解除後は経済活動の再開が進んでおりますが、新型コロナウイルス感染症の影響の長期化により景気の回復ペースは緩やかにとどまるものと想定されております。

このような事業環境の中、当社グループにおきましては、次の成長へ向けての中期経営計画『KENKO Value Action ～価値の創造～』の最終年度を迎えております。この中期経営計画の基本方針は、「CSV経営(Creating Shared Value)～共通価値の創造～」とし、社会と企業の両方に価値を生み出す企業活動を実践していくため、次の5つのテーマを掲げております。

- (I) 地域貢献 ～地域貢献度No.1企業を目指して～
- (II) 環境・資源 ～資源・エネルギー利用の効率化～
- (III) サプライチェーン ～サプライチェーンの短縮と事業活動の改革～
- (IV) ソリューション ～「技術・サービス」の事業化～
- (V) 働き方 ～従業員満足度の向上～

以上の「CSV経営」における5つのテーマに基づいた3つの事業戦略は次のとおりであります。

- ①お客様と共にビジネスを創造・・・お客様の抱える課題に対して、当社の「商品力」「メニュー提案力」「情報発信力」等のノウハウを活かし、共に課題解決に取り組む
- ②“創り・応え・拓げる”生産体制・・・お客様への安定した商品供給体制の構築によりグループ総合力で業務用市場を支えていく
- ③サラダ料理を世界へ・・・サラダ料理を世界に向けて提案・拡販を目指す

当第1四半期連結累計期間における売上高及び利益の概況は以下のとおりであります。

(売上高)

売上高につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、飲食店・商業施設等の休業や営業時間短縮に伴い外食分野における売上高減少が大きく、コンビニエンスストアや量販店等の中食分野を中心に売上確保を進めてまいりましたが、減収となりました。

(利益)

利益につきましては、事業計画の見直しや活動経費削減等の収益確保に向けた取り組みを進めてまいりましたが、売上高減少の影響が大きく、36百万円の経常損失となりました。足元では改善効果が表れ始めておりますが、更なる固定費圧縮等の収益改善を進めてまいります。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、連結売上高は15,719百万円（前年同四半期比2,791百万円の減少、15.1%減）、連結営業損失は55百万円（前年同四半期は670百万円の連結営業利益）、連結経常損失は36百万円（前年同四半期は745百万円の連結経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は53百万円（前年同四半期は525百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

当第1四半期連結累計期間における各報告セグメントの状況は以下のとおりであります。

(調味料・加工食品事業)

主に外食分野において新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、各商品群何れも前年同四半期比で減収となりました。各商品群における主な内容は次のとおりです。

サラダ・総菜類につきましては、ホテルやレストランなどにおけるビュッフェ・バイキング形式での食事提供の中止等により主力商品の1kg形態のポテトサラダが大きく影響を受けたことが主な減少要因です。

タマゴ加工品につきましては、コンビニエンスストア向けのタマゴサラダや麺用の錦糸卵が減少しました。

マヨネーズ・ドレッシング類につきましては、ファストフード向けでプロモーション商品の導入が進みましたが、外食分野の主力商品であるマヨネーズの1kg及びドレッシングの1L形態商品が大きく減少しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間におけるセグメント売上高は11,970百万円（前年同四半期比2,921百万円の減少、19.6%減）、セグメント損失は12百万円（前年同四半期は551百万円のセグメント利益）となりました。

(総菜関連事業等)

2018年6月より稼働を開始した株式会社関東ダイエットクック神奈川工場が稼働を開始して3年目に入り、売上高が順調に拡大し、収益も大きく改善が進んでおります。また、株式会社九州ダイエットクックにおけるフレッシュ総菜事業の売上拡大に向けた設備投資の効果により、計画どおりに売上・利益を拡大させております。

この結果、当第1四半期連結累計期間におけるセグメント売上高は3,590百万円（前年同四半期比255百万円の増加、7.7%増）、セグメント利益は43百万円（前年同四半期比101百万円の減少、70.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、61,146百万円（前連結会計年度比2,620百万円の減少、4.1%減）となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、27,164百万円（前連結会計年度比2,500百万円の減少、8.4%減）となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、33,982百万円（前連結会計年度比120百万円の減少、0.4%減）となりました。

(自己資本比率)

当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は、55.6%（前連結会計年度比2.1ポイント増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大が当社グループに与える影響について、合理的な予想の算定を行うことが困難であることから未定としておりましたが、緊急事態宣言解除を受け、経済活動再開の動きが見えてまいりましたので、現時点において入手可能な情報をもとに算定いたしました。

詳細につきましては、本日（2020年8月11日）公表いたしました「2021年3月期業績予想の公表に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,747	10,072
受取手形及び売掛金	11,399	9,959
商品及び製品	2,060	1,961
仕掛品	9	13
原材料及び貯蔵品	958	886
その他	445	443
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	25,617	23,334
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,601	12,505
機械装置及び運搬具(純額)	12,716	12,253
土地	5,903	6,017
建設仮勘定	126	126
その他(純額)	478	443
有形固定資産合計	31,826	31,346
無形固定資産		
投資その他の資産	169	161
投資有価証券	4,666	4,876
繰延税金資産	308	262
その他	1,205	1,196
貸倒引当金	△26	△32
投資その他の資産合計	6,153	6,303
固定資産合計	38,149	37,812
資産合計	63,767	61,146

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,938	7,219
電子記録債務	715	654
1年内返済予定の長期借入金	1,513	1,510
未払法人税等	439	74
その他の引当金	470	273
営業外電子記録債務	1	—
その他	4,677	4,117
流動負債合計	15,757	13,849
固定負債		
長期借入金	8,571	8,198
役員退職慰労引当金	382	382
退職給付に係る負債	394	368
その他	4,558	4,364
固定負債合計	13,907	13,314
負債合計	29,664	27,164
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,424	5,424
資本剰余金	5,691	5,691
利益剰余金	22,190	21,873
自己株式	△1	△1
株主資本合計	33,305	32,988
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	899	1,096
為替換算調整勘定	△44	△50
退職給付に係る調整累計額	△56	△51
その他の包括利益累計額合計	797	994
純資産合計	34,103	33,982
負債純資産合計	63,767	61,146

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	18,510	15,719
売上原価	14,070	12,424
売上総利益	4,440	3,294
販売費及び一般管理費	3,769	3,349
営業利益又は営業損失(△)	670	△55
営業外収益		
持分法による投資利益	57	8
受取利息及び配当金	18	18
その他	32	30
営業外収益合計	108	57
営業外費用		
支払利息	27	23
その他	5	15
営業外費用合計	33	39
経常利益又は経常損失(△)	745	△36
特別利益		
補助金収入	16	5
特別利益合計	16	5
特別損失		
固定資産除却損	0	0
その他	0	1
特別損失合計	0	1
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	760	△33
法人税等	235	19
四半期純利益又は四半期純損失(△)	525	△53
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	525	△53

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	525	△53
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△154	196
退職給付に係る調整額	4	5
持分法適用会社に対する持分相当額	△62	△5
その他の包括利益合計	△211	196
四半期包括利益	313	143
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	313	143

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

連結子会社における税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益又は税引前当期純損失に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	調味料・ 加工食品 事業	総菜関連 事業等	計				
売上高							
外部顧客に対する売上高	14,892	3,335	18,227	283	18,510	—	18,510
セグメント間の 内部売上高又は振替高	157	2,187	2,345	—	2,345	△2,345	—
計	15,049	5,522	20,572	283	20,855	△2,345	18,510
セグメント利益又は損失(△)	551	145	696	61	758	△13	745

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ショップ事業、海外事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△13百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	調味料・ 加工食品 事業	総菜関連 事業等	計				
売上高							
外部顧客に対する売上高	11,970	3,590	15,560	158	15,719	—	15,719
セグメント間の 内部売上高又は振替高	162	1,496	1,658	—	1,658	△1,658	—
計	12,132	5,087	17,219	158	17,377	△1,658	15,719
セグメント利益又は損失(△)	△12	43	31	△15	15	△52	△36

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ショップ事業、海外事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△52百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。